

資料1-7 専門委員会の構成

【「平成14年度に着手する大学評価事業実施基本計画」より抜粋】

専門委員会の構成（平成14年度着手分）

1 全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」に関する専門委員会構成

区 分	人 数
大学関係者	16人
学識経験者	10人
計	26人

注1 全学テーマ別評価については、評価員を加えて評価を行う。

2 「大学関係者」は、当該テーマに関し豊富な経験と専門的知識を有する者、大学等の教育研究活動及び大学運営に関し豊富な経験と高い識見を有する者及び大学評価に関し豊富な経験と専門的知識を有する者を示す。

3 「学識経験者」は、教育学術に広くかつ高い識見を有する大学関係者以外の者を示す。

2 人文学系教育評価専門委員会構成

区 分		領 域	人 数
当該分野の専門家	哲学・思想系	哲学・倫理学 中国哲学 印度哲学・仏教学 宗教学 思想史 美学・芸術学・美術史	4人
	文学系	日本文学 ヨーロッパ語系文学 各国文学・文学論	4人
	言語学系	言語学 日本語学（日本語教育） 英語学（外国語教育）	2人
	史学系	史学一般 日本史 東洋史 西洋史	4人
	人文地理学系	人文地理学	2人
	考古学・文化人類学系	考古学 文化人類学・民俗学	2人
	社会学系	社会学	4人
	心理学系	社会・環境系心理学 人格・臨床系心理学 発達・教育系心理学 実験系心理学	4人
学 識 経 験 者			4人
計			30人

注1 人文学系教育評価については、必要に応じ、評価員を追加して評価を行う。

2 「学識経験者」は、当該分野に関し高い識見を有する者を示す。

3 領域欄に示した各領域は、限定的なものではない。

3 経済学系教育評価専門委員会構成

区 分		領 域	人 数
当該分野の専門家	経済学	理論経済学 経済学説・経済思想 経済統計学 応用経済学 経済政策 財政学・金融論 経済史	21人
	経営学	経営学 商学 会計学	9人
学 識 経 験 者			3人
計			33人

(注) 1 経済学系教育評価については、必要に応じ、評価員を追加して評価を行う。

2 「学識経験者」は、当該分野に関し高い識見を有する者を示す。

3 領域欄に示した各領域は、限定的なものではない。

4 農学系教育評価専門委員会構成

区 分		人 数
当該分野の専門家	森林科学系	3人
	生物生産系	4人
	生命化学系	4人
	社会経済系	3人
	水圏生産系	3人
	地域環境系	3人
	獣医学系	3人
学 識 経 験 者		3人
計		26人

(注) 1 農学系教育評価については、必要に応じ、評価員を追加して評価を行う。

2 「学識経験者」は、当該分野に関し高い識見を有する者を示す。

5 人文学系研究評価専門委員会構成

区 分		領 域	人 数
当該分野の専門家	哲学・思想系	哲学・倫理学 中国哲学 印度哲学・仏教学 宗教学 思想史 美学・芸術学・美術史	4人
	文学系	日本文学 ヨーロッパ語系文学 各国文学・文学論	4人
	言語学系	言語学 日本語学（日本語教育） 英語学（外国語教育）	2人
	史学系	史学一般 日本史 東洋史 西洋史	4人
	人文地理学系	人文地理学	2人
	考古学・文化人類学系	考古学 文化人類学・民俗学	2人
	社会学系	社会学	4人
	心理学系	社会・環境系心理学 人格・臨床系心理学 発達・教育系心理学 実験系心理学	4人
学 識 経 験 者			4人
計			30人

注1 人文学系研究評価については、区分ごとに部会を設置する。各部会は、専門委員会の委員に評価員を加えて構成し、ピア・レビューによる研究水準の評価を行う。

2 「学識経験者」は、当該分野に関し高い識見を有する者を示す。

3 領域欄に示した各領域は、限定的なものではない。

6 経済学系研究評価専門委員会構成

区 分		領 域	人 数
当該分野の専門家	経済学	理論経済学 経済学説・経済思想 経済統計学 応用経済学 経済政策 財政学・金融論 経済史	21人
	経営学	経営学 商学 会計学	9人
学 識 経 験 者			3人
計			33人

- (注) 1 経済学系研究評価においては、区分ごとに部会を設置する。各部会は、専門委員会の委員に評価員を加えて構成し、ピア・レビューによる研究水準の評価を行う。
- 2 「学識経験者」は、当該分野に関し高い識見を有する者を示す。
- 3 領域欄に示した各領域は、限定的なものではない。
- 4 複数の区分にまたがる学際領域については、関係する複数の部会において協議し対応する。

7 農学系研究評価専門委員会構成

区 分	領 域	人 数
当該分野の 専 門 家	農学 育種学 作物学 園芸・造園学 植物保護 蚕糸・昆虫利用学	3人
	農芸化学 植物栄養学・土壌学 応用微生物学・応用生物化学 生物生産科学・生物有機化学 食品化学・栄養化学	3～4人
	林学 林学, 林産学	2～3人
	水産学 水産学一般, 水産化学	2人
	農業経済学	2人
	農業工学 農業土木学・農村計画学 農業機械学 生物環境	3人
	畜産学・獣医学 畜産学・草地学 応用動物科学 基礎獣医学・基礎畜産学 応用獣医学	3人
	境界農学 生物資源科学 応用分子細胞生物学	2人
学 識 経 験 者		3人
計		23～25人

(注) 1 農学系研究評価においては、区分ごとに部会を設置する。各部会は、専門委員会の委員に評価員を加えて構成し、ピア・レビューによる研究水準の評価を行う。

2 「学識経験者」は、当該分野に関し高い識見を有する者を示す。

3 領域欄に示した各領域は、限定的なものではない。

4 複数の区分にまたがる学際領域については、関係する複数の部会において協議し対応する。

8 「総合科学」教育・研究評価専門委員会構成

区 分	領 域	キーワード	人 数
当該分野の専門家	思想・芸術系	哲学，思想史，芸術論，文学，言語学，史学，科学史，技術史	25人
	国際・地域系	地域文化論，異文化論，文化人類学，国際関係論	
	社会・制度系	法学，政治学，経済学，経営学，社会学，政策科学	
	人間・環境系	健康・スポーツ科学，地理学，地球環境論，人文地理学，心理学，教育学	
	物質・生命系	天文・宇宙科学，地球科学，物理学，化学，環境化学，生物科学，環境生理・生態学	
	数理・情報系	情報学，数理科学，統計学	
	学際工学系	経営工学，人間工学，システム工学，教育工学，社会工学，医療工学，金融工学，環境工学，情報工学	
学 識 経 験 者			3人
計			28人

- (注) 1 教育評価については，必要に応じ，評価員を追加して評価を行う。
- 2 研究評価については，専門委員会の委員に評価員を加えて構成し，ピア・レビューによる研究水準の判定を行う。
- 3 「学識経験者」は，当該分野に関し高い識見を有する者を示す。
- 4 領域ごとに示した各キーワードは，限定的なものではない。
- 5 各領域の委員数やバランス等については，今後決定される評価対象機関の学問分野に応じ検討する。